



こんにちは

# 白子の議会

です

第85号

平成19年8月1日

編集発行  
白子町議会

☎ 0475(33)2111



観光地引網

## 第2回定例会

一般質問は3名の議員が町政を質しました…2～3ページ  
こんなことが決まりました……………4ページ

# 一 般 質 問

## 町政をきく

平成19年第2回定例会が6月13日に開催され今回の一般質問は3名が登壇し、合併問題、海岸浸食、内水面問題、農業、教育、福祉問題、などについて質しました。

### 海岸浸食の整備？

**議員** 国・県からの配慮で復旧事業の予算が受けられると聞いているが、今年の海水浴場の開設には影響があるので無いか、又今後どのような方法で整備が進められるか？

### 早期の復旧を要望

**町長** 早期の復旧ということに関係機関に何回も要望しており、今年の海水浴場は海の家・監視場をバックさせ十分な注意をしながら開設していきたいと思います。新しい方法としては砂を戻す。養浜という方法です。



中里海岸

### 水防対策について？

**議員** 中里・幸治地区は長生村に強制排水の機場が一カ所と言う事ですが現在の能力で十分かどうか伺います？

### 長生村とあわせて

**町長** 長生村とあわせて淡水防除事業を検討して、まずは調査に入りたいと思っております。

### 合併協議会の進捗状況は？

**議員** 合併協議会で色々議論されているところですが住民説明会がいつ頃開催されるか？

### 進捗状況は30%

**町長** 五十六項目のうち十七項目で進捗状況は30%程度の段階で協議が整った時点で、住民説明会を開催したいと思っております。

### 農業施策・教育課題を問う

**議員** 今年度から国は、農家の中でも担い手に施策を集中化・重点化する事になった。特に二十一年度までの三年間は、農政の抜本的改革にあたっての集中期間として、担い手のニーズに即した支援策を実施するようになっていく。

品目横断的経営安定対策の米の加入は、六月末で締め切られたが、新しくスタートした施策に対し、町としてどのように農家に推進を図っていくのか伺いたい。

### 大きな方向転換に疑問

**町長** 我が町の品目横断的経営安定対策の対象者は二十一名おり、この内、法人が一人である。六月七日に千葉農政事務所の説明会があり、申請受付では六名が希望をしている。担い手という位置付けをして、練引きをするやり方で本当に良いのかという疑問を感じているが、その基準を満たせない農家が殆どであり、農政が一八〇度と言ってよいほど方向転換され、その“はざま”の農家をどうするかがこれからの農政の大きな課題となる。町単独の支援も考えていきたいと思っております。

### ゆとり教育の現状と問題点は？

**議員** 今、教育は、学習指導要領が目指すゆとりの中から自らを学び、自らを考える力



施策が担い手に集中

生きる力を育む教育の推進がされているが、世論は学力の低下を指摘し、ゆとり教育の見直しを求める論議がされている。首相の直属である教育再生会議では、土曜日授業の復活も視野に入れた議論もされている。

方向性がめまぐるしく変化する中で、白子町のゆとり教育の評価と問題点について伺う。

### 二期制施行の中で 創意工夫

**教育長** 二期制施行の中で、各学校は特徴を生かした教育課程を編成し、学習指導や生徒指導、特別活動の教育全般にわたり充実に向け取り組んでいる。

教育法の改正などが国会で議論されているが、法律がどう変わろうと。教育の基本は変わらないと思うので、安易に右へ左へという事でなく、いろいろな制度に学校と連携を取りながら対応していきたいと考えている。

### 合併は 住民投票で



合併協議会

**議員** 合併の是非を問う住民投票を実施する自治体が増えています。今後の住民のくらし、まちづくりがどのようになるのかが問われる大きな問題です。住民の意見を聞き、住民投票によって是非を決めるべきだと思いますが、町長の考えを伺います。

### 議員が住民の代表

**町長** 合併による住民投票は県内でも実施された自治体が

ありますが、議員が住民の代表であるという認識の中で動いていますので、ご理解いただきたいと思います。

### 合併した場合 の財政状況は

**議員** 政府が閣議決定した財政健全化法案で示された四つの指標に、茂原市の財政が抵触してくるのではないかと。

また、七市町村が合併すると、人口約十六万人になり、地方交付税は大幅削減が予測されます。

これらの財政問題について町長の見解を伺います。

### 財政問題 議論の中心にしない

**町長** 財政健全化法案について茂原市が抵触するとは思っていません。

地方交付税については、現在の制度が続くわけではなく、今の制度の物差しではかかることのできない部分があると解釈しています。

前回の反省から財政問題を議論の中心に据えるべきではないと思っています。

### 地域包括支援 センター 進捗状況は

**議員** 四月から地域包括支援センターの活動が始まっています。専門職を中心に介護、福祉、医療などの連携をとり、地域の高齢者の生活を総合的に支えていく拠点となるべきものですが、現在の状況を伺います。

### 安心して利用 できるよう努力

**町長** 地域包括支援センターは、高齢者に対し、総合相談支援、権利の擁護、包括的継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメントの四つの取り組みを担う中核機関として位置づけてあります。町では、四月から社会福祉協議会へ委託し、設置しました。個々の状況に応じた細か

なプランの作成に取り組んでおり、対象者が安心してサービスが受けられるよう努めているところです。

### 地産地消の推進を

**議員** 家族農業を続けていけるようにするため、生産した作物は、生産地で消費するのが理想だと思います。地産地消をすすめるため、加工、販路の確保まで視野に入れた地域農業の振興を町や農協ぐるみで推進していく必要があるのではないかと考えますが、考えを伺います。

### 考え同じ

**町長** 農業問題は同じ考え。直売所を町がつくることはできないが、支援はしていきたいと思っています。今後、一緒に考えていきたいと思います。



こんなことが、  
決まりました。  
定例会 第2回  
議案の内容

補正予算

▽平成十九年度一般会計補正予算、及び国民健康保険事業特別会計補正予算等については、いずれも原案のとおり可決されました。

尚、詳細については、白子広報誌七月号をご覧ください。

諮問

▽人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて。

委員、三橋栄子氏は、平成十九年九月三十日で任期満了となりますが、引き続き適任者として推薦されました。

永年在職議員表彰

平成十九年度第二回、定例会において、永年在職議員に対する表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、千葉県町村議会議長会より、永年にわたり議員として、町政の振興と地方自治の進展に尽くされた功績により表彰するものです。本町から、次の三名の議員が表彰を受けました。

自治功労者

(議員在職十一年以上)

大多和 秀一  
河野 豊  
齊藤 鉄也



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は9月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL33-2111/FAX33-4132  
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

新潟県中越沖地震が発生し、十一名の尊い生命が奪われました。数多くの家屋の倒壊やライフラインの被害等などが重なり避難生活を余儀なくされています。心から、お見舞い申し上げると共に早い復興を願っているところであります。

さて、長生郡市においては、合併協議会も残すところあと僅かになって参りました。いちばん大きな問題でありました、合併期日につきまして、対案を提案しましたが、過半数の承認を得られず不採用となりました。

又、新市の名称について住民の公募により決定することになりました。結果応募率が低いにも関わらず承認されました。合併に関わる大きな問題でありながら数の論理により決定されているので残念であります。残された協議会も数の論理でなく多くの議論検討を重ねてもらい住民の皆様様に理解を頂けるように進めてもらいたいと思います。

今 関 勝 己